

8月5日(木曜日)

ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

明日の米雇用統計が意識される

4日(水)の主な推移



期間：4日(水)午前6時～5日(木)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 米国での金融緩和観測を受けたドル安の流れのなか、日経平均株価が下げ幅を拡大すると、市場ではリスク回避の動きへとつながり、クロス円は下落した。また午後に入りドル円が年初来安値を更新したことが引き金となり、その後ユーロ/円は112.69円、豪ドル/円は77.69円まで、それぞれ下げた。
- ② 米7月ADP全国雇用者数は+4.2万人と市場予想(+3.0万人)を上回る結果となり、ドル/円が反発したことに伴い、クロス円も上値を伸ばした。
- ③ 米7月ISM非製造業景況指数が54.3と市場予想(53.0)を上回る結果となり、また構成要素のうち雇用の指数も前月より上昇したことで、6日の米7月雇用統計での雇用状況改善への期待が高まると、市場ではドルが買われる展開となった。これを受けクロス円はドル/円の上昇に伴い、ユーロ/円は113.64円、豪ドル/円は79円台に上値を伸ばした一方、ユーロ/ドルはドル買いに押されて1.3130ドルまで下げた。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3090-1.3210ドル
ユーロ/円 : 112.50-113.90円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 77.60-79.20円

本日も明日の米7月雇用統計を意識した値動きが見込まれ、米新規失業保険申請件数が注目を集めそうである。仮に同件数が増加した場合ユーロ/ドルは上昇が見込まれる一方、減少した場合は下落が見込まれる。

また欧州中銀(ECB)では政策金利発表が予定されている。市場では金利据え置き予想がほぼ確実と見られる中、トリシェECB総裁の会見が予定されており、ユーロ圏の経済見通しに注目されよう。(川畑)

昨日は米国にて相次ぐ市場予想を上回る経済指標の結果を受け、ドル/円の上昇に伴い豪ドル/円も値を上げた。

本日の豪ドル/円は、米新規失業保険申請件数の発表に注目したい。仮に同件数が低下傾向を示した場合、明日6日の米雇用統計での雇用状況の改善期待が高まり、ドル/円の上昇に伴い豪ドル/円も値を上げる展開が予想される一方、件数が増加した場合は豪ドル/円も軟調な推移となりそうである。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/5(木)	19:00		(独) 6月製造業受注 [前月比]	-0.5%	+1.4%
	20:00		(英) BOE 政策金利発表	0.50%	0.50%
	20:45	○	(ユーロ圏) 欧州中銀政策金利発表	1.00%	1.00%
	21:30	○	(米) 8/1 までの週の新規失業保険申請件数	45.7 万件	45.5 万件
	21:30	○	(ユーロ圏) トリシェECB総裁会見	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。